2

見附市報道資料
令和８年 11 月２日

見附市への移住者が増えています
～専門事業者と連携したワンストップ窓口～

見附市では、移住を検討する方への相談体制を強化するため、６月１日から「見附市移住相談窓口」を開設しています。自治体の移住相談業務で実績のある「きら星株式会社」に業務委託し、住環境の情報だけでなく、住まいや仕事、子育てといった移住に関する相談全般にワンストップで対応しています。

こうした相談体制の強化やつながり移住支援金等の効果により、今年度の移住相談件数は 1.5 倍に増加、移住決定者も 10 倍に増加しました。

１．見附市移住相談窓口

移住相談窓口業務や人材・不動産事業を手掛ける「きら星株式会社」に業務委託をすることで、これまで市単独ではできなかった以下のような相談に対応します。

（1）相談と現地対応

①住まい：地元事業者と連携し、移住者の希望に合った物件の紹介、内覧のコーディネート等を行う。

②仕　事：移住者のニーズに合った求人の紹介、面談設定だけでなく、移住者の特徴に合わせた求人の掘り起こしを行う。

③その他：移住アンバサダー※や先輩移住者といった人や団体とのつながり作り、市内施設や行政サービスといった生活に必要なこと全般の紹介や現地案内を行う。

（2）LINE による相談

きら星株式会社が設ける移住相談専用の LINE アカウントを見附への移住相談 LINE として活用しています。移住検討者は、時間を気にせず気軽に相談が可能です。

２．実績の比較

ワンストップの移住相談窓口やつながり移住支援金※により移住決定者が増えています。

	令和７年度	令和８年度	前年比	増加の要因
相談件数	45 件 （年間 92 件）	65 件	1.5 倍	・きら星が有する「スマウト」※に対する専門的な知見と LINE 相談の導入により相談のハードルが下がり相談件数が増加
現地ツアー件数	17 人（10 組） （年間 34 人 19 組）	44 人（19 組）	2.6 倍	・相談件数が増加したことでお試し移住の利用者も増加
移住決定者	1 人（1 組） （年間同じ）	10 人（7 組）	10 倍	**・きら星の仕事紹介で２組５人が移住** **・つながり移住支援金で５組５人が移住**

（４月～９月の期間で比較）

※移住アンバサダー:市の魅力発信や移住者の定着をサポートする、市公認の市民や企業・団体

※つながり移住支援金：見附市民からの紹介をきっかけに県外から見附市へ転入した際に、紹介者と移住者のそれぞれに 10 万円が支給される制度

※ スマウト（SMOUT）：移住や地域とのつながりに関心がある人と、全国の自治体や地域の人々をマッチングするため、株式会社カヤックが運営する Web サイト

３.「栗農家体験ツアー」の参加者募集中

きら星株式会社の提案により移住者増の取り組みとして、移住体験ツアーを実施します。

栗農家として働きながら、もう半分は別の仕事をする「半農半X」という働き方を提案します。

■ 日　　時：令和８年 11 月 28 日(土)～29 日（日）
■ 対　　象：市外在住者
■ 定　　員：５組
■ 参 加 費：なし　※ただし宿泊費、交通費の一部（半額補助)、食事代等は自己負担
■ 内　　容：栗農園見学、農作業体験、栗農家との交流会、見附市内ツアー等
■ 申込方法：見附市移住相談窓口へ
　①ＬＩＮＥ：https://liff.line.me/2011200388-vZo6iYxU?area=mitsuke
　②メール：mitsuke@kirahoshi.com
　③電　話：050-1794-4539（時間：10:00～18:00※土日祝日を除く）
■ 申込期限：令和８年 11 月 25 日(水)

問 地域経済課 魅力創造係　☎0258-62-1700（内線 234・235）